

## (公社)日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会プログラム

## 都道府県開催用

講義・演習テーマ(講義:480分、演習480分=計960分)	学修目標
講義1【理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要】 臨床実習指導者講習会のねらい、ファシリテーターの役割(30分) 意義・目的・内容・仕組み(30分)	臨床実習指導者講習会開催の背景ならびに目的を理解する。 臨床実習指導者講習会におけるファシリテーターの役割を理解する。 指定規則・コアカリキュラムを踏まえて、理学療法士養成教育における臨床実習の理念と概要を理解し、卒前教育で取り組む意義ならび目標について理解する。
講義2【その他臨床実習に必要な事項】 教育原論・人間関係論(60分)	教育の基本、学習の基本について理解し、学習者評価に混入しかねない学習者評価バイアスについて理解する。また、種々の学習理論について理解を深める。教授者-学習者関係を中心に、教育的配慮としての人間関係の構築について理解する。
演習1【その他臨床実習に必要な事項】 人間関係論(90分)	演習に先立ち、受講生間のアイスブレイキングの時間を設ける。実習場面において、「学習者評価に混入しかねない状況」について議論し、「教育的配慮ができる指導者の対応とは」についてグループワークを行う。グループワーク内で、指導者-実習生関係の場面を設定し、ロールプレイを実施する。
講義3【臨床実習指導者のあり方】 リスク管理、コンプライアンスならびにハラスメント防止(60分)	臨床実習における対象者の権利保障・安全性の管理、個人情報保護、さらに、学生に対するハラスメントについて理解し、臨床実習指導者としてのあり方を理解する。
演習2【臨床実習指導者のあり方】 ハラスメント防止について(90分)	ハラスメント防止の観点から、相談事例について、背景分析から再発予防策、自殺に至るケース等を勘案して検討を行う。
講義4【臨床実習の到達目標と修了基準】(60分)	「臨床実習の手引き」を元に実習生が実習において、取り組む水準ならびに到達目標について理解する。さらに、水準が分類される背景についても理解を深める。
演習3【臨床実習の到達目標と修了基準】(90分)	免許取得時点で有するべき到達目標を基準に、臨床実習前・臨床実習後の評価の観点ならびに養成校内教育、臨床実習教育、卒後臨床研修の役割分担について議論する。
講義5【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】(90分)	診療参加型臨床実習の基本となる教育・学習理論について理解し、基本的態度・運動スキル・認知スキルのそれぞれの指導ステップならびに指導のポイントについて理解する。
演習4【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】 規定する時間数で臨床実習プログラムを立案(90分)	ガイドライン5(4)に規定する時間数で臨床実習プログラムを立案する。臨床実習プログラムの立案にあたっては、診療参加型臨床実習の方法を含めることや、臨床実習前の学修と臨床実習が十分に連携できるようにすること、自殺防止等を総合的に勘案して議論する。
講義6【その他臨床実習に必要な事項】 診療参加型臨床実習における学生評価(90分)	教育評価の意義、診断的・形成的・総括的評価ならびに評価と評定の違いについて理解するとともに、それぞれの評価目的に応じた実習指導者と教員の役割について理解する。
演習5【その他臨床実習に必要な事項】 診療参加型臨床実習における学生評価(90分)	臨床実習前後の評価を展開していくために必要な教育結果の判定方法、総合臨床実習の質向上を図るための学校養成施設と臨床実習施設の連携のあり方等について議論する。
演習6【臨床実習指導者およびプログラムの評価】(90分)	臨床実習指導者および臨床実習プログラムの評価を行うことについて、どのように考えるか、また臨床実習プログラムを評価する場合に考えられる評価項目や、評価方法について検討を行う。